

みやぎ地域づくり交流会

2014年3月1日

発行
みやぎ地域づくり交流会

みんなの
できることを

きずな通信 No. 12

事務局
宮城公民館内



地域づくりは人づくり、ふるさとづくり



地域の話題あれこれ



馬場町・市之関町にて

どんど焼き行われる

馬場町と市之関町では、小正月の恒例行事であるどんど焼きを行い、町民が持ち寄った古いお札や正月飾りを焚上げました。

馬場町では1月12日町内の田んぼを会場として、清流会が主体となり自治会と協力して行いました。



【馬場町どんど焼き風景】

また市之関町では、町民広場にて住吉神社と自治会が協力し1月19日行いました。当日はとても寒い日でしたが、都丸宮司の祝詞の後焚上げが始ま

ると、集まった町民の皆さんは体の芯から温まっています。「市之関町のどんど焼き風景」



三夜沢町赤城神社筒粥神事

赤城神社の年の初めの恒例行事である筒粥神事が1月15日社務所にて行われ、45種類の農作物の今年の出来を占いました。46番目に世の中全体を占い「よし」という結果が出ました。詳しい結果は、社務所の壁に掲載してあります。



総代さん立ち合いで行われた筒粥神事

一年の健康と平和を願い 七草粥行われる

宮城地区内七つの町では、1月7日に無病息災を祈って春の七草セリ・ナスナ・ゴキョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロを入れて炊いた、七草粥を食べる行事が行われました。

この行事は、生涯学習行事として自治会が協力し長年行われていた行事で、現在は7日だけでなく各自治会の都合に合わせて主に子供たちの冬休みに行われています。



苗ヶ島町七草粥会風景

【宮城地区 石の伝説⑦】

爪引き不動尊

爪引き不動尊は鼻毛石町の赤城寺飛び地の池にある。弘法大師が東北地方巡錫の際、三夜沢赤城神社に参拝したおり、村人たちが法益を求めて集まった。そのとき、人々の末永い利益を願い、自然石に不動明王の尊像を爪で描いたという伝説があり、水面近くに火光背の線刻が確認できる。戦前は毎年4月8日と盆の15日には赤城寺まで灯籠が並び、柔剣道大会や義太夫、繭の品評会などが盛大に開催され、にぎやかな祭典であったと近隣の方に聞いたことがある。

弘法伝説は北海道と沖縄県を除いた全国に分布するが、「弘法井戸・清水」の伝説が圧倒的に多い。僧の学問に「工巧名（くぎょうみやう・理工学）」があり、掘井（くつせい）技術も学んだのである。なお、「弘法大師」は諡号（しごう）で、法名は「空海」、幼名は真魚（まお）と名のつた。

（自然文化交流部会員

五百部

記）



みやぎ地域づくり交流会 地区内報告会



日時

平成26年3月22日(土) 午後1時30分～
宮城公民館 多目的ホール

今年度の取り組み

ふれあい交流部会
自然・文化交流会
福祉交流部会

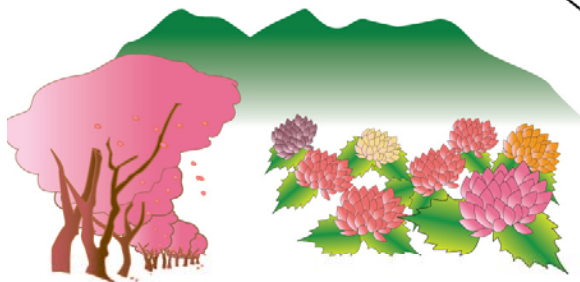


みよちゃん

なえちゃん

イチノ

一年を通してみやぎの
季節や行事を撮りためた
ビデオじゃよ!



ハナシ博士

ビデオ上映

広報委員会による
『みやぎの四季』

南橋地区の取り組み発表

『赤城白川まつり』

みなさまぜひとも
お越しなすってえ!



オーマ君